

岡山と中国を結ぶ日中友好のしんぶん

岡山と中国

発行所 認定NPO法人 岡山市日中友好協会 〒700-0902 岡山市北区錦町 5-15
http://www.oka-rizhongyouxie.jp/ ☎ (086) 225-5068 FAX (086) 225-5041
E-mail: oknittyu@yahoo.co.jp 郵便振替 01240-1-8821 加入者名 岡山市日中友好協会

定期総会特集

2026年3月
令和8年3月
286号

信条

この会は思想・信条、政党・政派の違にとらわれない
この会は広く各界各層の日中友好を願う人々の市民組織である

発行人 土井章弘 1部200円 印刷 旭総合印刷株
編集人 松井三平



土井章弘会長

2026年度定期総会



大森雅夫市長
(岡山市)

岡中友好新春互礼会

2026年度定期総会

市民一人ひとりの力で善隣友好を実施 未来永劫の恒久平和目指そう

認定NPO法人岡山市日中友好協会（土井章弘会長）は、2月11日、岡山市北区駅元町のANAクラウンプラザホテル岡山で、2026年度（令和8年度）定期総会と日中友好新春互礼会を開いた。会場には会員を中心に来賓、招待者ら約150人が参加、大いに盛り上がった。一方で日中関係をめぐり厳しい現状も感じられる中で「今こそ市民一人ひとり、そして友好協会の真価が問われる時」との緊張感も漂った式典となった。（関連記事2、3、4面）

互助互愛、友好運動の真価が問われる時 初心に立ち返り市民みんなで日中友好！

定期総会は、午前9時半から動計算書など諸報告を説明。続いて、新年度、令和8年度の事業計画書案、同活動予算書案の審議に入り、松井専

務理事が、提案理由、内容などについて詳細を説明、審議を経て原案通り決定。総会を無事終了、新しい年度のスタートを切った。

次に、会場を大ホールに移し、同10時半から、記念講演が行われ、日本国際貿易促進協会理事兼事務局長の泉川友樹氏が「建設的かつ安定的な日中関係を目指して」と題して講演した。

正午からは、恒例の日中友好新春互礼会が、約150人出席で賑やかに開会。1年ぶりの再開という関係者も多く、懇談、懇親は大いに盛り上がった。

互礼会開会にあたって土井章弘会長は「岡山市日中友好協会は、今年、設立45周年。初代、赤木五郎会長は、目指すところとして思想・信条・政党・政派の違いにとらわれない市民みんなで日中友好を掲げられ、それを強力に推進してこられました」と紹介。更に「中国と日本は大切なお隣同士の国です。先の戦争を鑑として、未来永劫の平和友好活動にご支援下さい」と強調。

昨年、訪中し上海にある岡山県・井原出身で、日中友好活動に生涯を捧げた内山完造翁夫妻の墓にお参りしたこと

「内山完造夫妻が生涯通じてはたした『互助互愛』の精神を実践し、未来永劫の平和に向けて努力しよう。一層のご支援を」と力強く呼びかけた。



報告する松井専務理事

重点目標、 45周年記念事業を 岡山市と連携実施

新年度の活動方針、事業計画として、重点目標として挙げていくのは、日中外交正常化の基本を遵守した上での民間交流の促進。

それに今年は、特に当協会の設立45周年に当たることから、各種の記念事業を計画し

すでに、中西関連資料の整理には着手しており、大学など研究機関とも協力しながら、顕彰活動を本格化する。

内山完造顕彰活動については、前年度からの未実施（イベント延期）の事業もあり、実施時期・内容等について時期を検討し具体化していく。

活動の重要な柱である日中教育・青少年交流促進活動や、各種の相互交流活動等については、日中関係の推移を見極めながら前向きに取り組んでいくこととした。

中国を含め、国内各地の友好団体との交流は例年通り続け、中国留学生との交流や法律相談サービス等とも取り組む。

また、内部的には、設立45周年事業として、協会としての将来展望の検討や、会員拡大・財政強化策とも積極的に取り組んでいく。

令和8年度 事業計画書

(令和8年1月1日から令和8年12月31日まで)

特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会

- 1 事業実施の重点活動目標
- (1) 日中国交正常化の基本を順守し民間交流を促進
 - (2) 岡山市日中友好協会設立45周年記念活動
 - (3) 岡山市洛陽市友好都市締結45周年記念活動
 - (4) 内山完造顕彰事業継続
 - (5) 中西寛治研究
 - (6) 日中教育・青少年交流促進活動
 - (7) 日中相互交流促進(アウトバウンド・インバウンド)

- 2 事業の実施に関する事項
- (1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出見込額(千円) |
|---------------------------------------|------|-------|--------------|-------|----------------------|-----------|
| 1. 日本及び岡山と中国各都市間における各界各分野の交流の促進及び協力 | | | | | | |
| ①洛陽市との友好都市交流活動促進 | | | | | | |
| ◆岡山市民訪問団の派遣 | | 4月 | 岡山市・洛陽市 | 5名 | 20名一般 | 100 |
| ◆友好都市45周年記念フェスティバル | | 通年 | 岡山市、洛陽市 | 2名 | 中学、高校 | 100 |
| ◆青少年教育交流の促進 | | 通年 | 岡山県 | 2名 | 中学、高校 | 0 |
| ◆その他各界各分野での交流 | | 未定 | 岡山市・洛陽市 | 2名 | 20名 | 0 |
| ②上海市との活動促進 | | | | | | |
| ◆内山完造顕彰事業継続・岡山での展示会・シンポジウム | | 未定 | 岡山県内及び上海市内 | 10名 | 50名一般 | 500 |
| ◆青少年教育交流の促進 | | 未定 | 岡山県内、上海市 | 2名 | 50名 | 50 |
| ③天津市との活動促進 | | | | | | |
| ◆交流事業、教育、医療、福祉交流等 | | 通年 | 天津市 | 3名 | 10名一般 | 0 |
| ④岡山県下各都市と友好省・都市間交流支援 | | | | | | |
| ◆日中友好交流団体との協力活動支援 | | | | | | 0 |
| ◆岡山県日中教育交流協議会、その他 | | 通年 | 上海市、洛陽市 | 2名 | 学校・一般30名 | 0 |
| 2. 日中相互理解を促進するためのイベント、講演会、研修会等の開催及び協力 | | | | | | |
| ◆日中友好新春互礼会(講演会・懇親会) | | 2月11日 | 岡山ANAクラウンプラザ | 20名 | 会員一般200名 会員一般150名 | 1,650 |
| ◆中国古今東西を語る会 | | 年3回 | 岡山市内 | 10名 | 会員一般 | 150 |
| ◆青年部活動の支援 | | 随時 | 岡山市内 | 青年部 | 会員一般 | 53 |
| ◆中西寛治研究調査 | | 随時 | 岡山市内 | 10名 | 会員一般 | 150 |
| ◆訪日交流インバウンド促進 | | 随時 | 岡山市内 | 7名 | 会員一般 | 100 |
| 3. 在日中国人との交流と支援 | | | | | | |
| ◆中国駐大阪総領事館との連携強化・開催行事への参加 | | 通年 | 岡山県内・大阪 | 1名 | 役員15名 会員15名 | 100 |
| ◆西日本地区日中友好交流大会への参加 | | 未定 | 西日本地区 | 5名 | 会員一般 | 0 |
| ◆岡山県下中国留学生との交流 | | 通年 | 岡山県内 | 3名 | 50名留学生 | 50 |
| ◆在岡中国人法律相談サービス | | 通年 | 岡山県内 | 1名 | 中国人 | 50 |
| 4. 協会会報の発行等の広報活動 | | | | | | |
| ◆会報「岡山と中国」発行 | | 年3回～ | 岡山市・県内 | 7名 | 300名一般 | 340 |
| ◆ホームページ更新&SNS活用 | | 随時 | 岡山・中国 | 1名 | 一般 | 50 |
| 5. 中国語の普及、留学生派遣 | | | | | | |
| ◆中国語会話教室の運営 | | 随時 | 協会事務所 | 3名 | 15名一般 | 50 |
| ◆中国語研修会を開催 | | 随時 | 市内 | 2名 | 10名一般 | 100 |
| ◆岡山浪乗り会 | | 通年 | 協会事務所 | 3名 | 30名一般 | 0 |
| ◆中国語通訳翻訳サービス | | 通年 | 協会事務所 | 2名 | 5名一般 | 200 |
| 6. その他目的の達成に必要な事業 | | | | | | |
| ◆洛陽緑化事業・後年報告業務 | | 通年 | 洛陽市新安県・伊川県 | 2名 | 洛陽市民 | 0 |
| 7. その他目的の達成に必要な事業 | | | | | | |
| ◆協会会員拡大・財政強化 | | 通年 | 岡山県内 | 理事 | 市民・県民 | 0 |

各報告書の詳細及び各年度毎の推移等については協会ホームページをご覧ください。

前年度活動報告、内山完造顕彰事業岡山会場は延期、戦後80周年を期した記念事業は、重点事業だった内山完造生誕140周年記念事業を始め、途中まで順調に盛り上がりを見せたが、年明け以降、高市首相の「台湾有事発言」を機に、日中関係は急激に悪化。厳しい対応を迫られる年後半となった。

それでも、全般的には、目標額を上回る寄付金のご協力を頂き、また、上海側の協力姿勢も熱いものがあり、次への足掛りは十分得られたよう。

この記念事業は、今年度以降も引き続き続けていくことにしている。また、新たに中西寛治研究調査も始まっており、期待が持てる分野だと言えそう。

その他、戦後80年関連ではハルピン訪問団の派遣を実施。友好都市交流としては、岡山市と協力して市民訪問団を洛陽市などに派遣し、都市間の市民交流も大いに盛り上がった。

友好協会や各種スポーツ団体を通じての交流は、松本日中友好協会との交流を始め、各方面で広がりをみせた。特に、青少年交流やスポーツ交流は、拡大が顕著だっただけに、今回の問題発生は心配される所。

「日中友好の歌」大合唱

参加者全員で大合唱した。歌唱指導は、音楽の砦代表の松原徹さん、中国語歌唱は岡山商科大学孔子学院長の黎曉妮さんの指導。

参加者全員が声高らかに歌い上げ、次期の再会を約束し合って閉会となった。



結論

1. 生産的かつ安定的な日中関係の構築には「過去を知ること」と「これまでの大きな成果」を知ることが重要
2. 中国の考える戦後国際秩序の原点は「ポツダム宣言」と「日中共同声明」、日本の考える戦後国際秩序の原点は「サンフランシスコ条約」と「日米安全保障条約」。この2つが衝突しそうになっているのが問題の核心。
3. 両者を衝突させず共存を図るのが日中外交の目指すべき姿。
4. その中で民間の果たす役割は極めて重要。



泉川友樹講師

（1面より続く）
記念講演、極めて重要となる民間のはたす役割

泉川友樹氏が、これまでの日中関係の推移を振り返りながら、専門家として分析、将来展望を熱く語った。

泉川氏は、まず、日中の経済関係の推移について、四つの時代に分類できると指摘。最初（新中国成立から文化大革命終了）が自力更生の時代で、ここで日中国交正常化が実現している。

2番目が改革開放の時代で、日中平和友好条約が締結している。3番目が一体化の時代で、中国が日本の最大の貿易相手国になっている。そして4番目が新ルール構築の時代で、現在の「習近平始動から」。

結論として「過去を知ることが非常に重要であり、その中で、民間のはたす役割は極めて重要だ」と強調された。

前年度活動報告、内山完造顕彰事業岡山会場は延期

戦後80周年を期した記念事業は、重点事業だった内山完造生誕140周年記念事業を始め、途中まで順調に盛り上がりを見せたが、年明け以降、高市首相の「台湾有事発言」を機に、日中関係は急激に悪化。厳しい対応を迫られる年後半となった。

それでも、全般的には、目標額を上回る寄付金のご協力を頂き、また、上海側の協力姿勢も熱いものがあり、次への足掛りは十分得られたよう。

この記念事業は、今年度以降も引き続き続けていくことにしている。また、新たに中西寛治研究調査も始まっており、期待が持てる分野だと言えそう。

その他、戦後80年関連ではハルピン訪問団の派遣を実施。友好都市交流としては、岡山市と協力して市民訪問団を洛陽市などに派遣し、都市間の市民交流も大いに盛り上がった。

友好協会や各種スポーツ団体を通じての交流は、松本日中友好協会との交流を始め、各方面で広がりをみせた。特に、青少年交流やスポーツ交流は、拡大が顕著だっただけに、今回の問題発生は心配される所。

友好交流45年の足跡

新春互礼会・懇親会では、岡山市日中友好協会設立45周年を記念して制作した「友好交流45年の足跡」のスライドが紹介された。

発足式典の写真や、当時の活動、活動メンバーの活動風景など、懐かしい写真類を見入る会員が多かった。松井三平専務理事が45年の足跡を振り返り説明に当たった。

特別中国古典「崑劇」

中国の古典演劇と言える「崑劇」が紹介された。これは、中国明代に生まれた演劇で、笛に合わせて歌いながら優雅に舞うというもの。

2001年には、日本の能と共にユネスコ無形文化遺産に登録されている。今回の崑劇、表演は、日本崑劇之友社で演奏は小江南曲社。出し物は「下山」。若い尼僧らの恋の掛け合いと言ったところ。舞と笛のコミカルな動きと掛け合いが面白い。

定期総会特集

令和8年度活動予算書

令和7年度事業報告書・活動計算書

Table with 7 columns: 定款の事業名, 事業内容, 実施日時, 実施場所, 従事者人数, 受益対象者の範囲及び人数, 支出額(千円). Contains 2028 fiscal year activity budget items.

令和7年度活動計算書 (令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

Table with 3 columns: 科目, 特定非営利活動に係る事業(金額), 合計. Shows 2027 fiscal year activity calculation results.

令和8年度活動予算書 (令和8年1月1日から令和8年12月31日まで)

特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会

Table with 3 columns: 科目, 特定非営利活動に係る事業(金額), 合計. Shows 2028 fiscal year activity budget details.

令和7年度事業報告書 (令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会

- 1 事業の成果
・2月-日中友好新春五礼会は170名の参加を得て盛大に開催。幸先良いスタートとなった。
・4月-岡山市民訪問団を結成し洛陽市を訪問。岡山市公式訪問団、市議会、友好都市議員連盟も同時期に訪問。現地で官民一体の交流実現。
・8月-戦後80年という節目の年に、ハルビン訪問団を企画し、731部隊陳列館見学を実施、日本の加害の歴史に学んだ。
・通年-内山完造生誕140周年事業を一年がかりで実施。会員内外から目標200万円を上回る寄付金が寄せられ10月に上海魯迅記念館での展覧会とシンポジウムの開催、総勢20名の記念訪問団の派遣など一連の事業が所期の目的を果たし大きな成果を得た。
・11月-高市首相の「台湾有事が存立危機事態にあたる」という発言により中国の大きな反発が起き、交流が停滞、予定していた岡山での記念事業及び相互訪問計画がすべて延期または中止を余儀なくされた。

2 事業の実施に関する事項
特定非営利活動に係る事業

Table with 6 columns: 定款の事業名, 事業内容, 実施日時, 実施場所, 従事者人数, 受益対象者の範囲及び人数, 支出額(千円). Lists specific activities and their details.

岡山市日中友好協会設立45周年 2026年新春互礼会



「友好交流45年の足跡」
解説：松井三平専務理事



崑劇表演
「日本崑劇之友社」

日中友好のうた
作詞・宮本光研
作曲・松原徹

おとなりの国 中国の
十四億人と 仲良くし
友誼と交流 あつくして
今とこれから 生きていく
日中友好 永遠にこそ

中日文化 豊かなり
ことばと心 交わしつづ
共存共栄 図りてぞ
多様な民族 生きていく
中日友好 彩々に

岡山洛陽 縁結び
両市の発展 進むなり
黄河の流れ 瀬戸の海
一衣帯水 鐘が鳴る
世界の平和 成しとげむ
世界の平和 成しとげむ



在岡留学生 学友会のみなさん



フィナーレ
“日中友好のうた”大合唱
歌唱指導：松原徹さん
中国語歌唱：黎曉妮さん他2名



お楽しみ抽選会

11/29：古今東西を訪ねる講
活動日誌

- 12/6：総会互礼会運営委員 会(協会)
- 12/26：会報「岡山と中国」 発送作業(協会)
- 1/12：BYDオート岡山訪 問(景品収受)
- 1/17：第1回理事会開催 (総会準備)
- 1/26：岡山市国際課打合せ (岡山市)
- 1/29：岡山日中友好卓球交 流会総会・理事会(協 会)
- 2/7：岡山商科大学孔子学 院春節会(孔子学院)
- 2/7：総会互礼会運営委員 会及び準備作業(協 会)
- 2/11：2026総会&日中 友好新春互礼会(A NAクラウン岡山ホ テル)
- 3/6：書道展打合せ(事務 局)
- 3/9：大阪総領事館訪問 (交流事業)
- 3/10：国学院大学生来局 友好都市交流45周年 事業打合せ(岡山市 国際課)
- 3/12：石山氏打合せ(令和 の遣中使)
- 3/13：岡山外語学院卒業式
- 3/14：第2回理事会(事務 所)
- 3/19：会報「岡山と中国」 発送(事務所)

先憂後楽

演会・上海市虹口区 外国語第一小学訪問 報告会(井原市森川 孝一教育長(岡山シ ティホテル桑田町会 議棟)

12/6：総会互礼会運営委員 会(協会)

12/26：会報「岡山と中国」 発送作業(協会)

1/12：BYDオート岡山訪 問(景品収受)

1/17：第1回理事会開催 (総会準備)

1/26：岡山市国際課打合せ (岡山市)

1/29：岡山日中友好卓球交 流会総会・理事会(協 会)

2/7：岡山商科大学孔子学 院春節会(孔子学院)

2/7：総会互礼会運営委員 会及び準備作業(協 会)

2/11：2026総会&日中 友好新春互礼会(A NAクラウン岡山ホ テル)

3/6：書道展打合せ(事務 局)

3/9：大阪総領事館訪問 (交流事業)

3/10：国学院大学生来局 友好都市交流45周年 事業打合せ(岡山市 国際課)

3/12：石山氏打合せ(令和 の遣中使)

3/13：岡山外語学院卒業式

3/14：第2回理事会(事務 所)

3/19：会報「岡山と中国」 発送(事務所)

上海の支援学校から、交流 している県立東備支援学校の 卒業生に向けて祝賀ビデオ メッセージが届いた。若い校 長先生の溼潤とした祝辞、将 来の夢というテーマでの絵画 や料理学習、農業体験、スポー ツに励む生徒の様子が軽やか な音楽にのせて寄せられた。 受け取った東備の生徒たちの 心の中にきつと暖かい気持ち が伝わったことだろう。この 支援学校同士の交流も長く継 続し相互信頼が強くなってい るが、今年のメッセージは今 日の日中関係の中、格別に感 慨深いものがあつた▼協会新 春行事恒例の「日中友好新春 互礼会」は150名の会員内 外の参加者を得て、盛会裏に 開催できた。特に泉川友樹氏 の講演は、客観的なデータに 基づく内容で分かりやすかつ たと参加者から好評だった▼ 協会は今年設立45周年を迎え る。この45年の間、日中関係 も様々な風雨があつたが、交 流が完全に停止したことはな かった。それほど今回の状況 はレベルが違うということだ ▼中国が「核心的利益」とし ている台湾問題。政府には今 一度1972年の日中共同声 明に立ち返り、中国との交渉 を実現し、一刻も早く正常で 健全な日中関係を回復しても らいたい。そして、我々も地 方の民間団体の一員として志 を同じくする人々と連携し、 局面の打開に向けた努力が求 められている。(松)